**豊葉の杜学園　副校長　橋田 康裕　さん**

10月に入り、朝のひんやりとした空気が、とても心地よい季節となりました。日中は少し汗ばむ陽気の中、スポーツで体を動かし、秋の夜長の中では読書を楽しみ、さらに、秋の味覚を存分にいただくことができる気持ちの良い季節を過ごされていると思います。

　さて、我が息子も今年、大学受験を迎える年齢となりました。少し前まで、子どもと思っていた我が子も、数少ない会話の中に、ずいぶんと大人になったなと感じさせる言葉を使うようになり、時の速さに戸惑いながらも、大人になっていく子どもに喜びを感じている自分に戸惑いがあります。

　我が息子が受験をする大学の志望に「先生になりたい」という言葉を使ったことに、大きな驚きがありました。息子が中学時代にお世話になった野球部の顧問の先生に強い憧れを抱き、自分の将来の姿に重ねたようです。

　人との出会いは本当に大切だと心から思えた一瞬でした。自分の目標を達成させるために、日々、遅くまで勉強をしている姿に、あらためて成長を感じています。その我が息子には「頑張れ」という声なき声を送ることしかできませんが、背中を押してあげたいなと思います。

　学校は、子どもたちに一日一日を大切に過ごさせ、その日の成長を積み重ねていく場所です。その子どもたちの成長を、後ろから支え、見守り、子どもたちが自分で進んで行けるように応援し続けていきます。保護者の方々や地域の方々と共に、今後とも、副校長として、より広い視野と情熱をもって、教育に携われるように努力をしてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

次回は、二葉三丁目町会にバトンタッチ

**『ほっと電話☎ご存知ですか？ 』**

朝夕はめっきり冷え込んできておりますが、荏原第五地区の皆さまは、お変わりございませんか。

「ほっと電話」は、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯を見守るサービスの一つとして、地域にお住まいのボランティア(地域支援員)が電話を月に1回(無料)かけています。

今日誰とも話していないわ・・・などありませんか。

同じ地域で、日常生活を送っているからこそ話せる事はありませんか。例えば「お買い物は普段どちらでされているの？」から「あそこのお店には何でも揃っているから便利よね」など共通の話題や日常の生活のお困り事などを話しながら元気な声を聞かせて下さい。

「ほっと電話」は、事前にボランティアとの顔合わせをしてから開始となります。利用者からは「一日誰とも話さない日があるから、電話をもらえると嬉しい　」という声をいただいています。詳細は支え愛・ほっとステーションまでご相談ください。ご連絡をお待ちしております。